

第129回教育研究評議会議事要録

日 時 平成27年10月19日（月）14時00分開会～15時15分閉会

場 所 本部棟5階 大会議室

欠席者 加藤評議員

陪席者 千家監事，谷口監事

議事に先立ち，学長から新評議員の紹介があり，続いて第128回教育研究評議会の議事要録が承認された。

議題1. 国立大学法人島根大学と学校法人大正大学との包括的連携に関する協定の締結について

学長から，地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の協力大学である大正大学と教育，研究，地域貢献等の分野において広く連携を図り，地方創生に資する人材育成と地域社会の発展に寄与することを目的として，包括的連携に関する協定を締結する旨が述べられ，続いて，佐藤副学長から，資料に基づき説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

議題2. 島根県と県内高等教育機関との雇用創出及び若者定着に関する連携協定の締結について

学長から，地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に関し，島根県と本学，島根県立大学，同短期大学部及び松江高専との間で，本事業で達成する具体的な数値目標等を内容とする連携協定を締結する旨が述べられ，続いて，佐藤副学長から，資料に基づき説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

議題3. 国立大学法人島根大学教員の採用手続等に関する規則の一部改正について

学長から，新学部設置に向けて，専任教員の採用手続を行うにあたり本規則の所要の改正が必要である旨が述べられ，続いて，山本総務部長から，資料に基づき説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

議題4. 名誉教授の称号授与について

学長から，平成27年7月16日死亡退職した教員に対し，本学名誉教授称号授与規則に基づき，平成27年7月16日付けで名誉教授の称号を授与することについて提案があり，続いて澤生物資源科学部長から資料に基づき推薦理由等について説明があった後，審議の結果，原案どおり承認された。

議題5. 学生の懲戒について

荒瀬理事から，中間試験において，カンニング行為を行った総合理工学部の学生に対して，当該学部長から懲戒申請があり，審議を行うものである旨が述べられ，続いて，廣光総合理工学研究科長から事件の経緯・概要等の説明があった後，審議の結果，原案どおり

承認された。荒瀬理事から学生の不幸事が多々発生し、全学での対応の必要性が述べられ、併せて学生への注意喚起について要請があった。

協議事項 1. 国立大学法人島根大学教育研究評議会評議員の選出について

学長から、国立大学法人島根大学教育研究評議会規則第2条第7号（その他教育研究評議会が定めるところにより学長が指名する教授 15名以内）の規定に基づき、第7号により指名される評議員の選出手続きについて協議する旨が述べられ、本件については、6月開催の総合戦略会議において協議し、各学部等に意見を伺い、改めて、10月開催の総合戦略会議において協議したものである旨の説明があった。また、学長から、今後の予定として、各学部等に持ち帰り検討いただき、その状況を踏まえ、11月又は12月開催の教育研究評議会において審議を行い、今年中には決定したい旨が述べられた。その後、藤田理事から、資料に基づき教育研究評議会評議員の選出手続き及び他大学の教育研究評議会評議員の状況について説明があり、続いて、学長から、6月開催の総合戦略会議で示した内容との修正点等が述べられ、協議が行われた。

報告事項

学長から報告事項については、「会議の効率的な開催について（申し合わせ）」に基づき実施をしており、議事を円滑かつ効率的に行うため、申し合わせの趣旨に立ち返り、特に必要な事項については、配布資料により、担当理事等から口頭で説明を行うとし、その他のものについては、担当理事等からの口頭での説明はしない旨が述べられた。

続いて、報告事項5の特別入試の危機管理体制について荒瀬理事から、報告事項3の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択結果について及び追加資料として配布した、しまね大交流会並びにCOC+キックオフセミナーについて佐藤副学長から、併せて、地域未来戦略センター長の選考について学長から、報告事項2の大学改革について秋重理事から、報告事項9の大学改革シンポジウムの開催について荒瀬理事からそれぞれ口頭での報告があった。最後に大学改革等に関する研修会について学長から、教育入試懇談会について荒瀬理事から参加の依頼があった。

この他、田坂評議員から学務情報システムの氏名の入力に関し要望があり、続いて、澤生物資源科学部長及び廣光総合理工学研究科長から学部創設に係る記念式典について謝辞が述べられた。